

# 東 魂



埼玉県立越谷東高等学校  
剣道部通信  
第40号 2021/5/24

## 『関東高等学校剣道大会埼玉県予選会③』

<大会を終えて>

工藤 直大

僕は試合には参加せず、観客席で動画を撮っていました。試合中、今の自分に何が出来るか、という事を考えて観戦と撮影ができたと思いました。また、他校の人の試合を五感で感じる事が出来、貴重な体験だったと思います。今回得た事を、今後の部活動の稽古に活かしていきたいと思いました。

笹原 真翔

試合を終えて、自分はあまり良い結果の試合はできませんでした。最後の城北埼玉戦では気合いとオーラで打ち負けないように必死に食らい付きましたが、自分的には意図的に引き分けに持ち込まれたのかなと思いました。そこがとても悔しく感じました。動画をみてこれを打てばよかったと後悔が込み上げてきますが良いところも打てたので、そこは自信をもち、次のインハイ予選に向けて日々精進していきます。

重見 拓海

今回の大会では私は補欠で試合には出ず応援をしていました。結果は4回戦目負けでしたが、ベスト16に入れていたので悔しい気持ちもありますが嬉しくもあります。この気持ちを次のインターハイ予選まで切らさずまずは部内戦で上位に入れるようにしたいです。



染谷 優友

今回の試合は3年生最後の試合でありこのメンバーでできるのも最後となった大会でした。今回意識したことは前日に練習した、構えを真っ直ぐにストレートで打つことを意識しながら望みました。しかし、思った以上に上半身は動いていても下半身がついていけなくて何度も転ぶことができました。上半身だけではなく下半身にもトレーニングが必要だなと感じました。また今回は得意な相打ち面を中心にとってきました。最後の試合では相手に相打ち面で競り負け二本負けしましたが、自分の得意技で勝負を掛けたため不思議と負けたのにスッキリしました。二本とも競り負けた原因はやはり下半身が乗れていないからだと思います。そのため相手より速く面を打ったはずなのに負けることが最後の試合では顕著に出ていると思います。あと自分に足りないのは小手の後の気の緩みです。3試合目の二本目に自分が小手にいって縮こまった時に上から打たれることができました。そのため突発的な小手は控えるようにします。逆に相手が自分に怖がって突発的に打ったところを上から乗るように打つことを意識してこれからの稽古に役立てていきたいです。誰が部長になるか分かりませんが、3年生の先輩方が引退し、今度は自分が後輩を引っ張って行けるように日々気を張って生活したいです。